

「奴国の王都」を歩いてみよう

『奴国の王都』

須玖遺跡群散策マップ



日本史上最初に名前が出た国「奴国」に想いをよせよう
弥生時代のテクノポリスに出た国「奴国」

「テクノポリス」ゾーン

国内最大規模の青銅器やガラス工房跡などの密集地。（近隣諸国へ供給して影響力を強化）

※テクノポリスとは
高度な技術を集積した都市のこと

「メモリアル」ゾーン

弥生時代の墓地で、王墓、王族墓、一般集団墓からなる。
王墓からは30面前後の中国鏡やガラス璧をはじめ、武器形青銅器など、多数の貴重な副葬品が出土した。

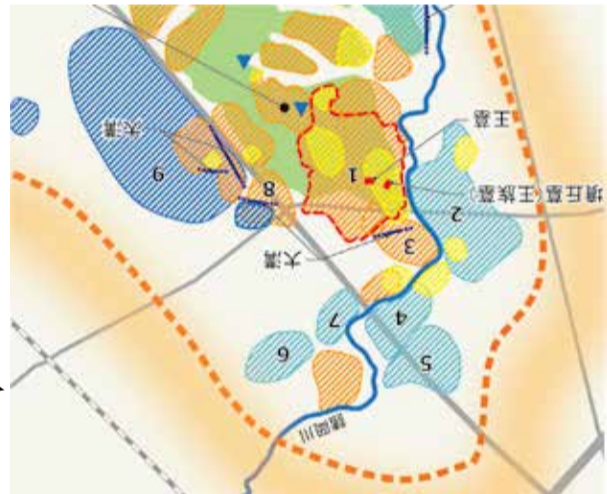
【須玖犬】スグちゃん

奴国の丘歴史資料館のマスコットキャラクター、首につけた権がトレードマーク



- WC トイレ
- P 駐車場
- コンビニ
- バス停
- 須玖岡本遺跡

資料館を出発して、約一時間でまわるコースだよ！



- | 記号 | 内容 |
|----|----------|
| ① | 須玖岡本遺跡 |
| ② | 須玖坂本B遺跡 |
| ③ | 須玖坂本A遺跡 |
| ④ | 須玖五反田遺跡 |
| ⑤ | 須玖唐梨遺跡 |
| ⑥ | 須玖黒田遺跡 |
| ⑦ | 須玖永田A遺跡 |
| ⑧ | 須玖尾花町遺跡 |
| ⑨ | 上平田・天田遺跡 |
- ※70以上の遺跡



弥生時代は日本で水稲耕作が始まった時代です。稲作が広がり、日本各地に多くの「ムラ」が生まれ、複数のムラが集まり「クニ」が形成されました。この他、金属製の道具の製作、使用、大陸や半島の人や技術の交流もさかんになります。弥生文化は「日本文化の源流」です。

【奴国】
奴国は、西暦57年、中国の光武帝から金印を与えられたことが中国の歴史書『後漢書』倭伝に記されています。日本で最初にその名が国の歴史書に登場した国です。その範囲は福岡平野一帯とされ、春日市にあった「須玖遺跡群」は奴国の中心地といえます。

【須玖遺跡群】
春日市の中央にある春日丘陵とその付近には、弥生時代中期から後期にかけて、大小約70の遺跡が東西1km南北2kmの範囲に密集しており、これらを「須玖遺跡群」と呼びます。須玖遺跡群の中でも「須玖岡本遺跡」は特に重要な遺跡です。

企画・編集：奴国の丘サポーター

春日市文化財課 福岡県春日市岡本3-57
TEL:092-501-1144 FAX:092-573-1077
URL: <https://www.city.kasuga.fukuoka.jp/miryoku/history/historymuseum/index.html>

QRコード

12月28日～1月4日

■開館時間 9:00～17:00(最終入館は16:30まで)
■休館日 第3火曜日(祝日のときは、その翌日)

■入館料 無料 ■駐車場 22台(無料)

【アクセス】

- 西鉄天神大牟田線 雑餉隈駅から徒歩24分(1.8km)
- JR鹿児島本線 南福岡駅から徒歩20分(1.5km)
- 春日市コミュニティバス
- ①接ヶ丘線 奴国の丘歴史資料館前下車すぐ
- ②須玖線 岡本1丁目下車徒歩7分(500m)
- 西鉄バス 岡本(45-1系統)下車徒歩4分(300m)

R7.01.01.2000

春日市奴国の丘歴史資料館



弥生時代の有力な国「奴国」と須玖遺跡群

テクノポリスゾーン

国内最大級の青銅器工房



連鑄式銅鑄鑄型

⑥須玖岡本遺跡坂本地区

すぐおかもといせきさかもとちく
銅矛や鏡などの鑄型やつば、銅滓（銅のかす）など、青銅器生産を示す多数の遺物が出土しており、その量は他の遺跡を圧倒しています。国内最大規模の青銅器工房跡で、青銅器やガラス製品の生産は当時の最先端技術であることから、「弥生時代のテクノポリス」といわれます。

全国初の発見！ 弥生時代のガラス工房跡



ガラス勾玉鑄型

⑦須玖五反田遺跡

すぐごたんだいせき
平成2（1990）年、ガラス勾玉の鑄型やガラスが付着した容器、玉を磨いた砥石など、ガラス製品の製作に使われた多数の遺物が出土しました。

全国初の発見！ 弥生時代の青銅器工房跡



すぐえいだえーいせき

⑧須玖永田A遺跡

昭和60（1985）年、鏡の鑄型をはじめ、青銅器生産に関連する遺物が多数出土しました。青銅器工房跡を原寸大のリアルな模型で歴史資料館に展示しています。

メモリアルゾーン

王族の墓地



岡本地区 20次4号甕棺墓

⑤王族墓

おうぞくば
岡本地区は王や王族の墓地で、青銅器や玉などの副葬品を持つ墓が高い比率で発見されています。王族墓エリアでは墳丘墓が確認され、墳丘墓には複数の甕棺が埋葬されています。この墳丘墓の積み土を剥ぎ取った土層標本を歴史資料館に展示しています。

奴国王の墓



④王墓

おうぼ
明治32（1899）年にここで、弥生中期末の王墓が発見されました。前漢鏡や武器形青銅器、ガラス璧・勾玉など卓越した副葬品を持つ甕棺が出土。被葬者は、西暦57年に金印をもらった奴国王の数世代前の王とされています。

地域の宝



銅矛鑄型

③熊野神社

くまのじんじゃ
熊野神社は岡本の産土神で、見晴らしの良い小高い場所にあります。江戸時代に発見された銅矛鑄型は神社に奉納され、神宝として氏子によって大切に保管されてきました。

一般集団墓・住居跡



②覆屋A・B棟

おおいやえー・びーとう
歴史公園内には覆屋が2棟あり、A棟では甕棺墓と祭祀土坑、B棟では甕棺墓、木棺墓、土坑墓など、弥生時代の遺跡が発掘調査時の状態で見学できます。

権力の象徴



①王墓の上石

おうぼのうわいし
王墓の上石は歴史公園開設に伴い、移設されたものです。平たく据えられた大石とそれに接する立石からなり、大石は長さ3.3m、幅1.8m、重さは4tです。



- かめかんぼ 甕棺墓
- 青銅器工房跡
- 住居跡
- ガラス工房跡
- 須玖岡本遺跡

道路横断注意！
(横断歩道あり / 春日北小前)

点滅信号を
左に！